



週刊新潮11月26日売

ハガキ付き連合企画

想いを伝える

マネープラン



【関連ワード／カテゴリ】

相続、遺贈、寄付、退職金、年金、保険、証券、不動産

週刊新潮読者のキーワード

「尊」

価値あるものとして大切にし、
重んじ（られ）ること。

EX) 尊ばれる 人から人格や業績などを認められ、高い敬意を払われる

尊重される 価値あるもの尊いものとして大切にされる

尊敬される 人格や行為を尊いものとしてうやまわれる

尊厳ある 厳かで気高い

これまでの人生、考え方が周囲に尊重され、尊敬される。
自分の価値観、想いや願いが次世代にも生かされることが重要。

本企画の切り口

ご協賛商品、サービスを
読者の価値観、想い、願いが「尊重」されるマネープラン
として位置づけます。

- 例) ◇ 退職金やこれまでの預貯金の運用
◇ 確定拠出型年金など「自分年金」
◇ 心に抱く願いを形にする遺贈／寄付
◇ 思いやりを子供や孫に残すための相続
◇ 次世代もともに喜びを享受できる不動産活用

本企画は一般週刊誌誌上での企画のため、投資上級者向けのハイリスク商品等はお断りする場合があります。
また不動産に関しましては弊社独自の審査があります。投資用マンションは本企画の対象といたしません。

発売日設定の意図

11月30日「年金の日」に考える

◇読者の中核をなす

50歳代～60歳代の男性とその家族にとって
老後の備えは十分にできているかどうか。

◇コロナ禍のいま、

資産や保証が自分の想いを実現しているか、
子や孫の幸福のためになっているか。



本企画ご協賛 3大メリット

①本誌通常価格よりも

お得な割引料金

をご提供

②連合はがき付き

資料請求者リスト

をご提供

③読者のマネーに関する

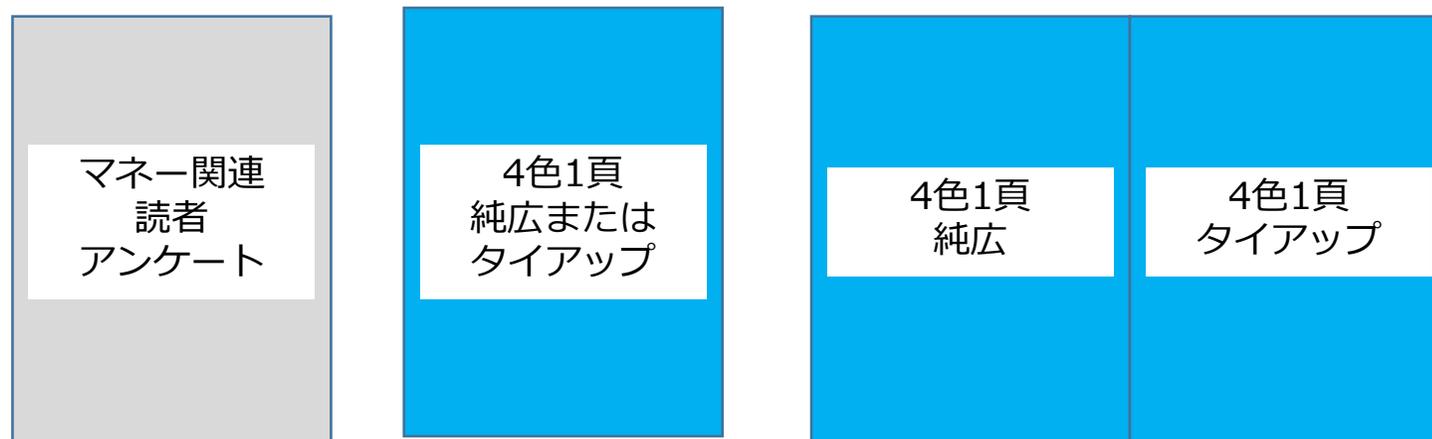
アンケート結果

をご提供

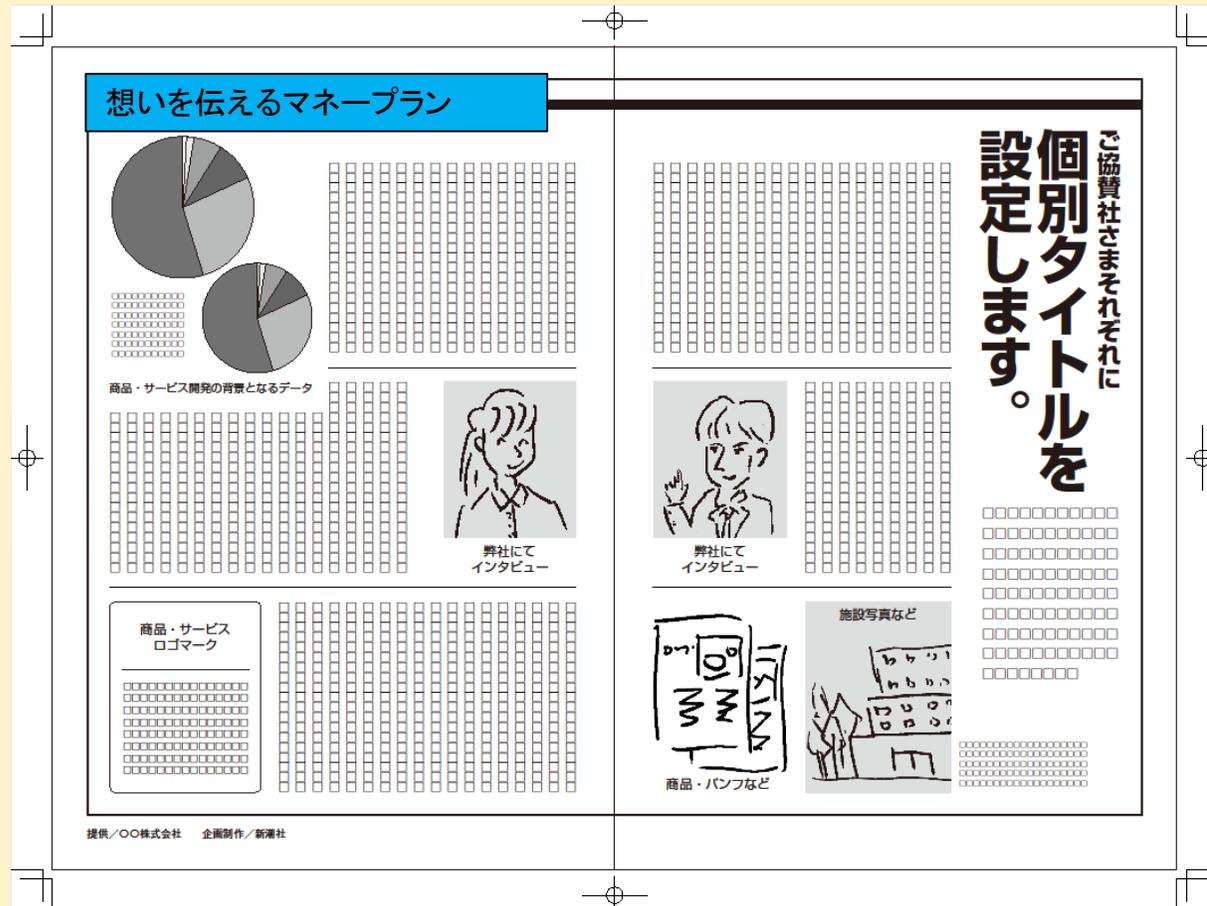
本企画全体構成イメージ



上記は現時点での
イメージであり
ページの増減や、
入れ替え等の
可能性もあります。
詳しくは
お問い合わせ
ください。



誌面展開イメージ（4色2頁の場合）



【タイトル】
ご協賛商品・サービスは「こんな想いを実現できる」と読者に期待していただけるタイトルをつけさせていただきます。

【本文】
貴社への親しみを感じていただくためにも担当者の方へのインタビューを中心とした構成を考えております。

広告料金（本企画特別価格）

4色2頁 タイアップ+資料請求はがき

2,700,000円（定価6,200,000円）

4色1頁 タイアップ+資料請求はがき

1,500,000円（定価4,300,000円）

4色1頁 純広告+資料請求はがき

1,300,000円（定価4,000,000円）

注) 上記「はがき」はすべて「連合はがき」となります。はがきなしの場合は上記料金より200,000円をお値引きいたします。また1頁でのご出稿の場合、やむを得ず広告対向となる場合があります。

スケジュール

10月9日（金） 申し込み締め切り
23日（金） オリエン/取材 期限
11月上旬 原稿提出
18日（水） 校了

各協賛社さまの進行スケジュールに関しましては、個別にご相談させていただきます。

本企画の成立等につきまして

- ・ 本企画は2社さまのご協賛をもって成立とさせていただきます。
- ・ 成立の判断は10月9日（金）となります。
- ・ 上記以前にご協賛が2社さま以上になった場合、本企画はその時点で成立となります。
- ・ 本企画が不成立となった場合、10月9日（金）時点でご注文をいただいたクライアントさまに関しましては、11月24日発売号におきまして、本企画料金を適用のうえ、掲載させていただきます。ただし、はがきに関しましては雑誌全体の編成上、お付けできない場合があります。その際は、改めてご相談とさせていただきます。
- ・ ご不明の点はいつでもお問い合わせください。

オプション企画のご案内

本企画と組み合わせ可能な企画です。

提案はオーダーメイドとなりますので、詳細はご相談ください。



<https://kohza.shinchosha.co.jp/> との連動

- ・ ハイレベル、深い内容で人気のカルチャーセンター「新潮講座」
- ・ クライアント企業×「新潮講座」
⇒ リモートも対応可能
⇒ 講師の選定もご相談ください



1,500,000円

- ・ 動画撮影/編集が必要な場合は、ご協賛社側にてお手配をお願いいたします。
- ・ 載録タイアップの実施も可能です。別途お見積となります。
- ・ 講座内容に関しましては、弊社当該部署での別途審査があります。

その他オプションメニュー

◇新潮社公式サイト「デイリー新潮」転載	600,000円～
◇雑誌読み放題サービス「d-magazine」転載	650,000円/頁
◇クライアント様HP等へのコンテンツ提供	600,000円～
◇クライアント様への掲載データ提供	600,000円～

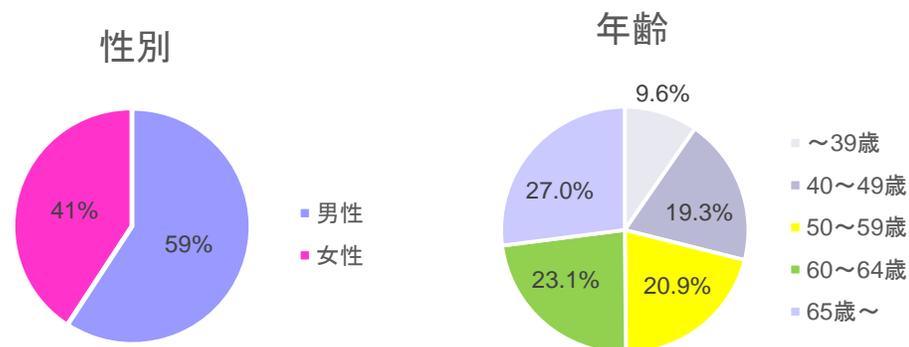
- ・ デイリー新潮は「掲載期間保証」のみのメニューとなります。
- ・ 著名人が出演する誌面を転載、提供の場合は別途2次使用料がかかります。
- ・ 上記はあくまで目安となります。詳細はお問い合わせください。

【媒体プロフィール】



創刊： 1956年2月（今年64周年）
出版社系ジャーナリズム誌
としては日本で最初に創刊
編集長： 宮本太一（2017年2月より）

- 発売日： 毎週木曜日
- 発行部数： 390,020部（一般社団法人日本雑誌協会 2019年1月～3月）
- 全国に配本（比率は人口比とほぼ同じ）
- 読者属性



<おもな購読者層（上位3つ）>

- ① サラリーマン
- ② 主婦（夫）・リタイア層
- ③ 自営業

【週刊新潮の歴史】

1956年に創刊された『週刊新潮』。非新聞社系ジャーナリズム雑誌として創刊されて以降、今日まで常にトップランナーとしての言論活動をおこなってきました。政治・事件・文化風俗などへの徹底した取材から生み出された記事は、長年多くの読者に信頼され愛されてきました。また『週刊新潮』の記事をきっかけに、世論を大きく動かすような展開となった事件も数多くあり、媒体が持つ社会的影響力の強さを物語っています。

またもうひとつの側面は、老舗文芸出版社としての強みを凝縮し読者に文化を提供してきた雑誌であることです。これまでも山本周五郎や池波正太郎といった大物時代小説、松本清張や山崎豊子といったノンフィクション文学など、良質な作品を読者に提供してきました。

【読者の傾向】

週刊誌と聞くと読んだらすぐに終わり、というイメージがあるかもしれませんが、弊社が行った愛読者調査（2010年実施）によると、『週刊新潮』は、

「自宅でじっくりと読む」 「購入してから4～5日かけて読む」

「毎週購読している」 「最初から最後まで記事を読む」読者が多く見られました。

また、購買者が自宅へ持ち帰って家族で回読する、という傾向もあります。

【お問い合わせ先】

株式会社 新潮社 広告部

〒162-8711

東京都新宿区矢来町71番地

電話：03-3266-5211

FAX：03-3266-5235

担当：大川、渡辺、重松

infoad@shinchosha.co.jp